



信用金庫の貸出金利回りの動向

とね かずゆき
乃禰 和之

ポイント

- 全国信用金庫の2013年度の貸出金利回りは、前期比0.11ポイント低下の2.01%となり、6年連続で前期を下回った。2003年度と比較すると、0.59ポイントの低下である。
- 他業態の貸出金利回りの変化幅をみると、2003年度比で都市銀行が0.45ポイント、地方銀行が0.63ポイント、第二地銀は0.81ポイント、それぞれ低下した。
- 2013年度の地区別の貸出金利回りは、全11地区で前期比低下した。貸出金利回りの水準は、東海の1.75%から南九州の2.73%まで地区によって差がみられる。
- 信用金庫別の貸出金利回りは、8金庫で前期から改善したものの、9割超の259金庫で前期比低下した。利回りが改善した8金庫のうち4金庫はカードローン等の残高が増加している。
- 2013年度の信用金庫別の貸出金利回りは、2.0%未満が81金庫、2.0%以上2.2%未満が89金庫、2.2%以上3.0%未満が86金庫、3.0%以上が11金庫となった。2003年度と比べると、2.0%未満の信用金庫が0金庫から81金庫になるなど、利回り低下が急である。

1. 全国信用金庫の貸出金利回り

(1) 貸出金利回りの推移

全国信用金庫の2013年度の貸出金利回りは、前期比0.11ポイント低下の2.01%となり、6年連続で前期を下回った(図表1)。直近のピークとなる2007年度から0.62ポイントの低下である。

業態別の貸出金利回りの推移をみると、信用金庫以外の3業態とも2007年度以降、利回りが低下している注。2003年度からの変化幅は、都市銀行が0.45ポイント、地方銀行が0.63ポイント、第二地銀は0.81ポイント、それぞれ低下した。4業態を単純に比較すると、第二地

銀の利回り低下が目につく。

(2) 預貸金利鞘の推移

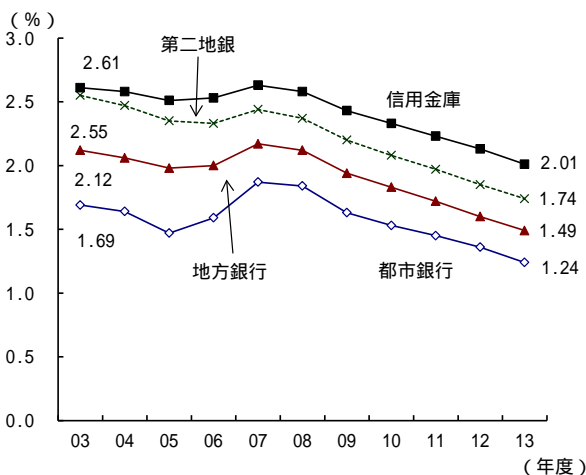
2013年度の預貸金利鞘は、前期比0.07ポイント低下の0.83%となった(図表2)。2003年度(1.10%)からの推移をみると、0.27ポイントの低下である。これは、預金利回りが下げ止まるなか、経費率の改善を上回る貸出金利回りの低下が続いたことによる。

2. 信用金庫の地区別の状況

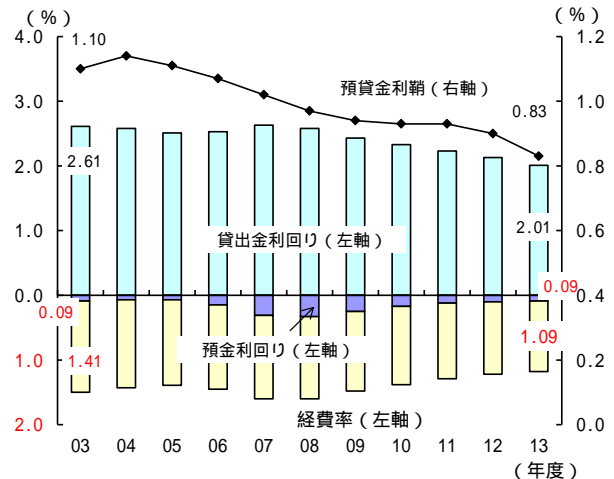
2013年度の地区別の貸出金利回りは、全11地区で前期比低下した(図表3)。

地区別では、東海が最も低い1.75%で、最も

(図表1) 業態別の貸出金利回りの推移



(図表2) 預貸金利鞘の推移(信用金庫)



注 他業態は「全国銀行財務諸表分析」を参照

高い南九州は2.73%となるなど、地区により利回りの水準が異なる。「名古屋金利」と称される東海は、2002年度以前より全国で最も低い貸出金利回りが続いている。

また、2013年度の預貸金利鞘をみると、東海が0.61%にとどまる一方で、四国(1.40%)、南九州(1.22%)、東北(1.10%)は1.00%を超えた。

3. 信用金庫別の貸出金利回り

(1) 前期からの変化

2013年度の信用金庫別の貸出金利回りは、前期比上昇が8金庫(構成比2.9%)、前期比低下は259金庫(97.0%)となった(図表4)。

259金庫のうち、前期比0.1ポイント超低下したのは128金庫(47.9%)、さらに0.2ポイント超低下したのは6金庫(2.2%)あった。

一方、貸出金利回りが前期比上昇した8金庫の属性をみると、預金規模が7,000億円未満で、ほぼ全国に分布していた。また、4金庫でカードローンの残高が増加している。

(2) 分布の変化

2013年度の信用金庫別の貸出金利回りの分布状況は、2.0%未満が81金庫(構成比30.3%)、2.0%以上2.2%未満が89金庫(33.3%)、2.2%以上3.0%未満が86金庫(32.2%)、3.0%以上が11金庫(4.1%)となった(図表5)。

2003年度と比べると、2.0%未満の信用金庫数が0金庫から81金庫になった。この81金庫のうち、1.8%未満が28金庫に達するなど、利回りの低下が急である。

以上

(図表3) 地区別の貸出金利回り

地区	03年度	12年度	13年度	03年度 対比	12年度 対比	預貸金利鞘	(参考13年度末)		
							住宅ローン 比率	カードローン 等比率	地公体向け 貸出比率
北海道	2.51	2.10	2.01	0.49	0.09	0.92	18.6	0.6	19.7
東北	3.00	2.46	2.35	0.64	0.10	1.10	18.7	2.7	13.1
東京	2.58	2.16	2.05	0.53	0.11	0.86	22.0	0.2	0.5
関東	2.67	2.16	2.04	0.62	0.11	0.85	25.7	0.7	7.2
北陸	2.56	2.17	2.05	0.50	0.12	0.84	23.1	1.2	17.1
東海	2.30	1.84	1.75	0.55	0.09	0.61	28.8	0.6	7.3
近畿	2.63	2.13	1.98	0.65	0.15	0.85	22.8	0.7	8.2
中国	2.75	2.26	2.16	0.58	0.09	0.85	21.5	1.4	9.4
四国	3.25	2.65	2.58	0.67	0.07	1.40	24.1	3.2	7.8
九州北部	2.82	2.40	2.32	0.49	0.07	0.92	22.8	1.4	5.1
南九州	3.39	2.82	2.73	0.65	0.09	1.22	16.4	2.3	8.3
合計	2.61	2.13	2.01	0.59	0.11	0.83	23.9	0.8	7.3

(備考) 1. 他業態との合併等は考慮していない。

2. 対比は小数点第3位以下まで用いて計算後に第3位を切り捨てている。

3. 沖縄県は合計に含む。

(図表4) 信用金庫別の貸出金利回りの変化(12年度-13年度)

増減幅	金庫	構成比
上昇	8	2.9
低下	259	97.0
(うち0.1 ポイント超低下)	128	47.9
(うち0.2 ポイント超低下)	6	2.2
合計	267	100.0

(図表5) 信用金庫別の貸出金利回りの分布

